

医学生アドバンストコース（2週間コース）

研修プログラム

皮膚科

【当院の皮膚科研修の特性】

- 1) 当院は広島県北（三次，庄原，安芸高田，世羅）のみならず，島根県南部や岡山県北西部などを医療圏として抱えており，診療する症例は多岐にわたる。
- 2) 郡部の中核病院での研修は，都市部の大病院での研修とは違う経験が得られ，将来に役立つ経験になると考える。

【一般目標 GIO】

チーム医療を実践する医療者の一員として診療に従事することを通じて，医療者のもつべき7つの能力を学び，基本的なものを修得する。

7つの能力とは，1. 臨床技能，2. 公衆衛生，3. 科学的基礎知識，4. プロフェッショナリズム（態度），そして，これらを支えるための，5. コミュニケーション能力，6. 情報管理，7. 批判的思考，をさす。

【到達目標（行動目標） SBOs】

- 1) コミュニケーションを通じ，患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき，患者および家族から診療に必要な情報を収集し，取捨選択して整理できる。
- 3) 一般的な皮膚科疾患患者の病歴および皮膚現症の取り方，記載法などの基礎的事項を理解し，自ら経験する。
- 4) 担当する手術において，その解剖と術式を理解する。
- 5) 適切な手洗い，ガウンテクニックと簡単な縫合，糸結びができる
- 6) 皮膚科領域で用いられる主要な検査・治療について，概要，有用性，限界，危険性を説明し，結果を解釈できる。
- 7) 皮膚科領域における主要疾患について，症候，病態，診断，治療を説明できる。
- 8) 収集した情報を基に，POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。

市立三次中央病院

- 9) 医療チームの構成や各構成員（医師，薬剤師，看護師，その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し，チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ，清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け，靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち，態度，言葉遣いに気を配ること。特に，患者さんと接する際には，実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務，個人情報管理には常に留意し，患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また，予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席，遅刻の場合は必ず届け出ること。
- 5) 特に手術室においては清潔・不潔の区別に留意し，指導医の指示に従って行動すること。

【実習の内容 LS】

- 1) 外来診療研修：外来診療を通じて，患者の問診・基本的検査を，指導医の指導の下に実施する。
- 2) 病棟研修：指導医の受け持つ患者と一緒に診療し，入院から退院までの医療に参加すること。
- 3) カルテ記載：病歴聴取や診察で得た所見，また，その後行われた検査の結果や今後の治療方針など，主治医がカルテに記載すべき事柄については，学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが，主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで，正しい書式で記載すること。
- 4) ポートフォリオ：実習日誌「毎日の振り返り」について，指導医のコメント・署名をもらうこと。

市立三次中央病院

【週間スケジュール】

時間	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	外来(予約, 初診)	外来(予約)	外来(予約, 初診)	外来(予約)	外来(予約, 初診)
午後	検査 外来手術	手術室手術	慢性外来	手術室手術	検査 外来手術

【評価 Ev】

9 項目の到達目標 (SBO s) が実習中にどの程度達成されたかを評価する。

- ① 指導者 (医師・看護師・事務職・技術職技師) による, 医療者としての行動 (パフォーマンス)・態度の評価 (20 点)
- ② 患者とのコミュニケーションの評価 (20 点)
- ③ 皮膚科疾患についての病歴聴取を適切に行える。(15 点)
- ④ 当科領域に関する知識・理解度 (15 点)
- ⑤ 記載したカルテの内容の評価 (15 点)
- ⑥ ポートフォリオの内容の評価 (15 点)

以上の 6 項目について採点して総合評価 (100 点満点) を行う。

【皮膚科医師・専門領域・資格】

秋本 成宏 (一般皮膚科) 皮膚科医長

日本皮膚科学会専門医